



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 PCIホールディングス株式会社
コード番号 3918 URL <http://www.pci-h.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天野 豊美
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 井口 直裕

TEL 03-5633-7940

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	2,554	23.8	222	38.8	223	38.3	140	34.0
28年9月期第1四半期	2,063	—	160	—	161	—	104	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 140百万円 (34.0%) 28年9月期第1四半期 104百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年9月期第1四半期	37.48	37.11
28年9月期第1四半期	31.23	30.55

(注) 1. 当社は、第1四半期の業績開示を平成28年9月期より行っているため、平成28年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。
2. 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年9月期第1四半期	4,322	3,109	71.9	828.08
28年9月期	4,378	3,155	72.1	840.70

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 3,109百万円 28年9月期 3,155百万円

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	5,190	21.8	422	13.3	422	10.2	271	3.1
通期	10,500	23.5	690	16.9	695	17.4	450	11.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成29年2月6日)公表いたしました「平成29年9月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期1Q	3,756,200 株	28年9月期	3,755,200 株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	1,413 株	28年9月期	1,382 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期1Q	3,754,458 株	28年9月期1Q	3,362,404 株

当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続の実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは情報サービス事業の単一セグメントでありましたが、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)における我が国経済は、政府による各種経済政策を背景に、雇用・所得環境の改善がみられ、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、急激な円安進行や海外経済の不確実性の高まり等、先行き不透明な状況下で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、企業による設備投資の改善に足跡がみられるものの、IT投資需要は総じて堅調に推移いたしました。しかしながら、依然としてIT技術者不足が常態化しており、人材確保が継続的な課題となっております。

このような状況下において、当社グループは、「全社員が一部上場会社の社員としての自覚とプライドを持ち、一部上場企業としての品格とビジネスを追求し、エクセレントカンパニーの基盤を作る。」を平成29年9月期のモットーに掲げ、高品質なサービス提供に邁進するとともに、当社グループの成長戦略の柱であるIoT/IoE(※1、2)ソリューションにおける既存サービスとのシナジー効果の創出を目的に、平成28年11月に株式会社シスウェブの全株式を取得し完全子会社化する等、M&Aや業務提携による事業規模拡大に向けた各種施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,554百万円(前年同期比23.8%増)、営業利益は222百万円(前年同期比38.8%増)、経常利益は223百万円(前年同期比38.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は140百万円(前年同期比34.0%増)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、売上高は2,229百万円(前年同期比8.0%増)となり、セグメント利益は178百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

以下では、ITソリューション事業における概況と売上高を主要区分別に示します。

① エンベデッドソリューション

エンベデッドソリューションの展開につきましては、当社グループの開発実績と自動車業界における最新技術を用いた安全運転支援システムを搭載したスマートカー開発等の好調な需要を背景に、引き続き新規顧客からの引き合いが増加いたしました。当社グループが得意とする車載関連、重機・建機等の自動車産業向け組込み系ソフトウェア開発では、既存顧客からのカーナビゲーション開発・チップセット開発案件の計画的な受注に加えて、車載系ECU(※3)モデルベース開発案件やAUTOSAR(※4)開発案件が拡大する等、総じて好調に推移いたしました。

以上の結果、エンベデッドソリューションの売上高は977百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

② ビジネスソリューション

ビジネスソリューションの展開につきましては、既存取引先との深耕拡大及び新規顧客の開拓に努めるとともに、多岐にわたる顧客需要に応えるべくビジネスパートナーとの更なるアライアンス強化並びに戦略的な商流の切り替え促進に取り組んでまいりました。企業向けソフトウェア開発においては、クラウドアプリケーション導入支援案件が好調に推移したことに加え、金融機関向け案件及び流通系案件が引き続き堅調に推移いたしました。

以上の結果、ビジネスソリューションの売上高は1,058百万円(前年同期比14.6%増)となりました。

③ IoT/IoEソリューション

IoT/IoEソリューションの展開につきましては、前連結会計年度より放送が開始された『V-Lowマルチメディア放送(※5)「i-dio」』のコンテンツ拡充に伴う開発案件が堅調に推移したものの、同案件の放送開始に伴うプラットフォーム一括請負開発の特需があった前年同期には至らず、売上高は微減となりました。自動車販売店向けソリューションにおいては、既存サービスの機能改修及び大型システム改修案件が好調に推移いたしました。エネルギー業界向け分野においては、発電所事業支援サービスの計画的な受注により、堅調に推移いたしました。

以上の結果、IoT/IoEソリューションの売上高は192百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

(半導体トータルソリューション事業)

半導体トータルソリューション事業につきましては、売上高は325百万円となり、セグメント利益は42百万円となりました。

国内半導体市況の好調を背景に主要顧客からの引き合いが旺盛となり、また、自動車向け半導体及びFA(※6)向け半導体案件、並びにパワーアナログ半導体案件等の顧客需要の拡大に呼応して当社グループの開発業務受託が好調に推移いたしました。加えて、スマートフォン向けの需要減少の影響が懸念されるイメージセンサ案件についても車載カメラ等スマートフォン以外への採用が推進されたことにより、既存顧客からの引き合いが継続する中で好調に推移いたしました。

(注) 上記に用いられる用語の説明は以下のとおりであります。

(※1) I o T : (Internet of Things)

コンピュータ等の情報・通信機器だけでなく、様々な「モノ」に通信機能を持たせ、インターネットに接続、相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測等を行うこと。

(※2) I o E : (Internet of Everything)

I o Tよりも広い概念であり、ヒト・モノ・プロセス・データ等がインターネットにつながり、相互に通信が可能となる技術や状態、仕組みのこと。

(※3) E C U : (Electronic Control Unit)

自動車の電子制御装置のこと。

(※4) A U T O S A R : (A U T o m o t i v e O p e n S y s t e m A R c h i t e c t u r e)

車載ソフトウェアプラットフォームの仕様の名称及び自動車業界のグローバル開発パートナーシップのこと。

(※5) V - L o w マルチメディア放送 : V - L o w 帯 (地上アナログテレビ終了後に空いたVHF帯の周波数跡地のうち、90MHz~108MHzの帯域を指す) の放送電波と通信回線を使用し、主に移動体端末向けに音声・映像・データ等のコンテンツの配信を行う新しい放送の形態のこと。

(※6) F A : (Factory Automation)

工場等の生産システムの自動化のこと。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、4,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金422百万円、電子記録債権42百万円、たな卸資産18百万円の増加の一方で、現金及び預金740百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ204百万円の減少となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産26百万円、無形固定資産66百万円、投資その他の資産55百万円の増加により、前連結会計年度末に比べ147百万円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、買掛金42百万円、賞与引当金34百万円の増加の一方で、未払金146百万円、未払法人税等92百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ28百万円の減少となりました。

固定負債につきましては、役員退職慰労引当金4百万円、資産除去債務14百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ18百万円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益140百万円を計上した一方で、剰余金の配当187百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.9% (前連結会計年度末は72.1%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月10日に公表した平成29年9月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、下記の通り修正いたしました。

平成29年9月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,470	百万円 388	百万円 388	百万円 265	円 銭 70.59
今回修正予想(B)	5,190	422	422	271	72.18
増減額(B-A)	720	34	34	6	—
増減率(%)	16.1	8.8	8.8	2.3	—
(ご参考)前年同期実績 (平成28年9月期第2四半期)	4,262	372	382	262	78.07

平成29年9月期通期連結業績予想値の修正(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 630	百万円 635	百万円 420	円 銭 111.89
今回修正予想(B)	10,500	690	695	450	119.85
増減額(B-A)	1,500	60	60	30	—
増減率(%)	16.7	9.5	9.4	7.1	—
(ご参考)前期実績 (平成28年9月期)	8,504	590	591	403	118.79

詳細につきましては、本日(平成29年2月6日)公表の「平成29年9月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社シスウェーブ他1社を子会社化したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,239,999	1,499,215
受取手形及び売掛金	1,277,381	1,700,105
電子記録債権	142,046	184,600
たな卸資産	84,725	103,310
その他	154,039	206,930
流動資産合計	3,898,193	3,694,162
固定資産		
有形固定資産	50,941	77,179
無形固定資産		
のれん	7,602	71,665
その他	56,993	59,373
無形固定資産合計	64,596	131,039
投資その他の資産	364,857	420,147
固定資産合計	480,395	628,366
資産合計	4,378,589	4,322,529
負債の部		
流動負債		
買掛金	282,031	324,307
未払金	423,701	277,591
未払法人税等	130,382	38,127
賞与引当金	4,287	38,655
役員賞与引当金	—	3,800
その他	278,930	408,483
流動負債合計	1,119,333	1,090,966
固定負債		
役員退職慰労引当金	72,921	77,557
退職給付に係る負債	4,796	4,886
資産除去債務	15,806	30,520
その他	9,892	9,339
固定負債合計	103,416	122,303
負債合計	1,222,750	1,213,270
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037,416	1,037,648
資本剰余金	1,175,757	1,175,989
利益剰余金	943,467	896,506
自己株式	△802	△886
株主資本合計	3,155,838	3,109,258
純資産合計	3,155,838	3,109,258
負債純資産合計	4,378,589	4,322,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,063,895	2,554,586
売上原価	1,584,628	1,920,688
売上総利益	479,266	633,897
販売費及び一般管理費	318,711	411,122
営業利益	160,555	222,775
営業外収益		
受取利息及び配当金	163	44
受取家賃	696	591
助成金収入	1,320	540
その他	291	490
営業外収益合計	2,471	1,666
営業外費用		
支払利息	98	511
支払手数料	1,190	415
その他	92	—
営業外費用合計	1,381	927
経常利益	161,645	223,514
税金等調整前四半期純利益	161,645	223,514
法人税、住民税及び事業税	57,820	58,663
法人税等調整額	△1,175	24,121
法人税等合計	56,645	82,785
四半期純利益	104,999	140,729
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,999	140,729

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	104,999	140,729
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	104,999	140,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,999	140,729
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)

「II 当第1四半期連結累計期間 4. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T ソリューション 事業	半導体トータル ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,229,040	325,546	2,554,586	—	2,554,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,229,040	325,546	2,554,586	—	2,554,586
セグメント利益	178,645	42,768	221,414	1,361	222,775

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益107,610千円及び全社費用△108,026千円、その他調整額1,776千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの経営指導料、業務委託収入が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりであります。

「半導体トータルソリューション事業」において、当第1四半期連結会計期間に株式会社シスウェブを子会社化したことにより、セグメント資産が680,882千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社シスウェブ他1社を子会社化したことにより、「ITソリューション事業」セグメントにおいて8,392千円、「半導体トータルソリューション事業」セグメントにおいて57,671千円増加しております。

なお、のれんの当第1四半期連結累計期間の償却額及び当第1四半期連結会計期間末の残高は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	IT ソリューション 事業	半導体トータル ソリューション 事業
当第1四半期連結累計期間償却額	279	961
当第1四半期連結会計期間末残高	8,112	56,710

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、集約基準及び量的基準に基づき、「情報サービス事業」の単一セグメントであった従来の報告セグメント区分を、「ITソリューション事業」及び「半導体トータルソリューション事業」の2区分に変更しております。

「ITソリューション事業」は主にソフトウェア開発を、「半導体トータルソリューション事業」は主に半導体に係る設計・テストサービスの提供を行っております。

なお、当該変更を反映した前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	IT ソリューション 事業	半導体トータル ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,063,895	—	2,063,895	—	2,063,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,063,895	—	2,063,895	—	2,063,895
セグメント利益	157,558	—	157,558	2,996	160,555

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益94,139千円及び全社費用△92,914千円、その他調整額1,772千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの経営指導料、業務委託収入が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。